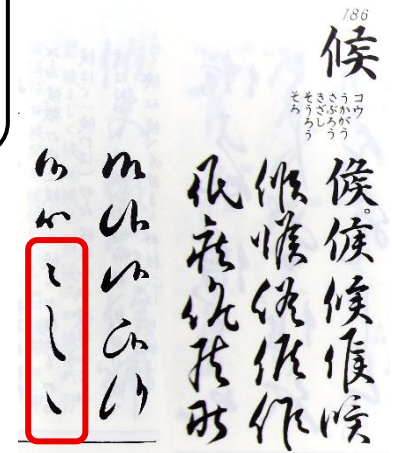


解読のポイント

1、文章の切れ目に使われる文字に注目

- ・文章の最後に置かれる文字→「候」「也」（～です。～します。）
- ・文章の最後に置かれる語句→「御座候」「無御座候」（～でございます。～ではございません。）
- ・文章を繋ぐ語句→「候間（～ので・～によって）」「候得共（～しましたけれど・～といえども）」「候由（～とのこと・～だそうで）」「候ハヽ（～しましたら）」等

たくさん使われる文字
は崩し方も激しい



2、返って読む字に注目

よく出る返読文字

- ・「不（ず・ざる）」（～ない、否定）
- ・「被（る・らる）」（受身、尊敬、可能）（例）「被成下」（なしくだされ）→「～くださって」
- ・「無（なし）」（～ない、否定）（例）「無之（これなく）」
- ・「奉（たてまつる）」（ささげる・献上するの意）（例）「奉願候（ねがいたてまつりそうろう）」→「お願い申し上げる」

3、文字のへんに注目

すべての文字を覚えることはできないので、辞書をひくため「へん」を覚えましょう。

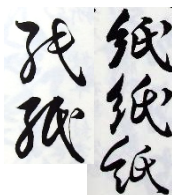
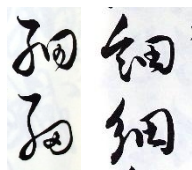
特徴的な「へん」や簡単な文字を組み合わせると、文字がわかることも…

（例）糸+田→細

糸+内→納

糸+氏→紙

糸+分→紛



読めない文字は
後回しにして
どんどん読み進めるぞ！



古文書解読練習方法

◇古文書講座に参加する

メリット：講座に申し込むと強制的に古文書を読むことが出来る！

デメリット：予定を合わせる・開催場所に行くことが大変！

例）新潟県立文書館開催の講座

- ・はじめての古文書講座 ※古文書講座を受けたことがない人優先
- ・古文書解読講座（夏季・冬季）
- ・古文書輪読会 ※全8回、古文書読解力の上達を目指す古文書解読経験者向け
- ・その他、各自治体が開催する古文書講座、古文書を読む会等

◇教材を利用する

メリット：いつでもどこでも自分のペースで古文書を読むことが出来る！

デメリット：教材を開くために自分の意志が必要！

例）新潟県立文書館の教材

- ・新潟県立文書館インターネット古文書講座→新潟県立文書館 HP に掲載中
- ・古文書解読講座テキスト集→県立文書館閲覧室にて利用。コピー可。
- ・古文書解読練習帳→県立文書館閲覧室にて利用。コピー可。
- ・新潟県立文書館各種講座テキスト→カウンター職員にお声がけください。
- ・古文書読解用各種辞書等→県立文書館閲覧室内で利用可。



毎日読むとくずし字に
目が慣れて、どんどん読
めるようになるよ！